

支援センター名	豊中町青少年ボランティア活動支援センター		
所在地	〒769-1506 香川県三豊郡豊中町大字本山甲192-1		
連絡先	Tel	0875-62-1010	Fax 0875-62-6420
	URL	<a href="http://www.town.toyonaka.kagawa.jp/tyobora/index.htm">http://www.town.toyonaka.kagawa.jp/tyobora/index.htm</a>	

## 事業の概要とポイント

中高生で組織するジュニア・リーダークラブとボランティアに関心のある小学生や一般の方々に対して自らボランティアに携わっているという意識を定着させることを目標に行った。

特にジュニア・リーダークラブに関しては、町内の行事や各種団体の行事に参加することで地元意識と各年齢層の人を知り、行事の中で発言力が持てるようになった。

## 関係した学校・団体等の名称

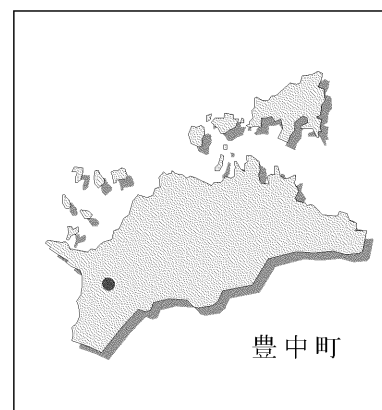
町内花火実行委員会 豊中中学校 とよなか荘 七宝荘 豊中町青年団  
 豊中町公民館 豊中町子ども会育成連絡協議会 青少年育成豊中町民会議

## 地域の現況・特色

活動対象地域の人口 豊中町 12,000人

豊中町は、香川県の西部三豊平野の中央に位置し総面積19.9k㎡。東と北は眉山と天神山丘陵で高瀬町と接し、西から南にかけては、七宝山系と財田川を隔てて仁尾町・観音寺市と南東は山本町と接する。JR予讃線、国道11号線、高松自動車道が町をほぼ南北にとおっている。気候は温暖少雨、平坦地が多く町土の3分の2を占める肥沃な水田地帯では、米・採取玉葱・花卉・ブロッコリーなどが、丘陵地ではブドウなどが栽培されている。

また、香川用水の導入と本町の地下を流れる財田川水系伏流水の利用によって豊かな水に恵まれた町である。



## 企画から活動までの経緯

- 平成15年6月 町内花火実行委員会より花火大会の運営について協力してくれる人はいないかと相談を受けた。
- 6月15日 ジュニア・リーダークラブ定例会にて花火大会への協力の件を議題にしたところ協力希望者が多数出た。
- 7月 実行委員会が夜ということもあり、コーディネーターが間に入り実行委員会で決まったことや依頼などをジュニアの定例会で報告。またジュニアからの質問などを実行委員会へ報告した。
- 7月31日 花火大会当日、実行委員会と詳細について打ち合わせ、ジュニア・リーダー一人一人が運営上欠かせない役を与えられた。
- ※以上のことからコーディネーターは各種団体へジュニア・リーダーの派遣先を探し、打ち合わせを繰り返し派遣を積み重ねてきた。

## 事例の展開内容（特色など）

町内の花火実行委員会より運営上の役割分担をしていたが、「人手が足りないので協力してくれる人はいないか」と相談があった。内容を聞くと簡単な役割だが人数的に多く必要だと言う。以前、ジュニア・リーダーだったコーディネーターはジュニア・リーダークラブに話を持ち掛けた。いつもは見に行く花火大会が、今回は運営に携わると言うことでジュニア・リーダーたちは大きな興味を持った。花火実行委員会の会が夜にあるのでコーディネーターがジュニアに代わって会に参加し、内容をジュニアの定例会で報告するなどした。

花火大会当日、常日頃活動している場の違いや知らない大人に戸惑いながらも一人一人が与えられた役割をこなした。大会運営上のお手伝いとしては小さなことだが、自分たちがいないと花火大会は成り立たないということを実感した子どもたちは充実した表情だった。

## 企画・活動する上でのポイント、留意点など

ジュニア・リーダークラブは中高生で組織しているため夜間の活動に対して特に保護者の理解が必要となる。花火大会に至っては参加の了承はもちろん現地までの送迎も保護者が行った。また、運営上の協力という観点では、決して難しくないものでなければならなかった。何故なら協力に行ったが出来なかったでは、花火大会実行委員会に迷惑がかかるし何より子どもたちがやる気を失ってしまうからである。

## 評 価

花火大会の運営に多数のジュニア・リーダーを派遣したことで運営上の人手不足が解消し、ジュニア・リーダーにとっては普段と違う活動の場で充実感が得られ双方にとって良い結果に終わった。

地元花火大会という多数の人が集まる行事の運営を協力することでジュニア・リーダーは

それまで会うこともなかった大人と会話し大会成功の一役を担っていることを体験できた。

しかも、青少年時代に地元の大人たちに混じって活動したことは大いに地元意識が高まった。

そして、コーディネーターは町内各種団体に話を持ち掛けジュニア・リーダークラブを派遣した。老人ホームでの夕涼み会や餅つき、青年団夏祭り、町文化祭などである。

ジュニア・リーダーを派遣しだしてから、派遣先を絞り込み繰り返し派遣することでそれぞれの事業に欠かせない存在として確立してきた。

今後は、ジュニア同様一般のボランティア登録の増加、派遣先の拡大などが課題である。

## 活動風景



花火大会お手伝い

写真は待ち時間を利用し子どもたちを集め得意のレクゲームを指導中

執筆者職・氏名： 豊中町 教育委員会事務局 西岡直樹